

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)

【公開番号】特開 2019-25305 (P2019-25305A)

【公開日】平成 31 年 2 月 21 日 (2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報 2019-007

【出願番号】特願 2018-78536 (P2018-78536)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/536 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 L 15/22 (2006.01)

A 6 1 L 15/46 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/53 1 0 0

A 6 1 F 13/536 2 0 0

A 6 1 F 13/53 3 0 0

A 6 1 F 13/15 1 4 1

A 6 1 F 13/15 1 4 2

A 6 1 L 15/22 2 0 0

A 6 1 L 15/46 2 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 28 日 (2019.6.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

肌面シート、非肌面シート、及びこれらシート間に配される吸収体を備え、着用者の前後方向に対応する縦方向に沿って、前方部、後方部、及びそれらの中間に位置し、着用者の排泄部に当接する領域を含む中間部を備える吸収性物品であって、

前記吸収体は吸収性コアと、該吸収性コアの非肌側面を覆うコアラップとを有しており、

前記吸収性物品の前記縦方向と直交する横方向の両側には、前記肌面シートと前記吸収体を一体的に押圧して形成された防漏溝が、前記前方部から前記中間部を介して前記後方に跨って形成されており、

前記中間部では、前記吸収体が、その非肌側に開口を有し、肌側に底部を有する空洞部を備え、該底部と平面視において重なる前記吸収性コアの密度が高い圧密部を、平面視において前記一対の防漏溝の間に複数備えており、

前記非肌側面を覆う前記コアラップは、前記圧密部と平面視において重なる部分を含む領域で、消臭剤を含んでいる、吸収性物品。

【請求項 2】

前記吸収性コアの肌面側を覆う前記コアラップが配されている、請求項 1 に記載の吸収性物品。

【請求項 3】

前記コアラップが前記吸収性コアの肌側面及び非肌側面を覆っており、前記吸収性コア

の非肌側面を覆うコアラップはカチオン性抗菌剤を含み、肌側面を覆うコアラップは水溶性のpH緩衝剤及び前記多孔性粒子を含む、請求項2に記載の吸収性物品。

【請求項4】

前記吸収体は前記中間部において、その周辺部よりも坪量が高い高坪量領域を備えており、該高坪量領域に前記圧密部を有している、請求項1～3の何れか1項に記載の吸収性物品。

【請求項5】

前記高坪量領域は、該高坪量領域の周囲に位置する該高坪量領域よりも坪量の低い低坪量領域よりも密度が高く、前記圧密部よりも密度が低い、請求項4に記載の吸収性物品。